

平成26年度 第5回 運営推進会議

(報告 引地)

1月30日(金)に開催された会議の内容を報告させていただきます。

◆毛利代表より

- 花水木はこの10年の間にご家族の皆さん、そして地域の方々からあたたかいご支援をいただき、花水木ファミリーとして体制が整ってきました。
- 新しく入居される方、デイ利用の方と色々な方にご利用いただいております。これまでの人生における経験をいつも教えていただき、特にスタッフはケアしながらの学びの場として成長させていただいております。伝える皆さんも活気ある笑顔で色々伝承していただいております。
- 本日の運営推進会議はご利用者の方も一緒にテーブルでお話し合いをします。実際の生活の様子等色々意見を聞いていただき、また行政の方にはこれからの高齢者の生活支援に活かしていただきたい。

◆名誉院長先生より

- 利用する側に立って考えるということはとても難しいこと。実際に利用する側になり住んでみて安心できている。またスタッフが小さい鈴の音1つですぐに駆けつけることに安心している。今回は意見を心の中にしまい込まず、自分の意思を話してほしい。

◆地域の方より (新中島北区区長: 目黒氏)

- 区長になり花水木に出入りするようになったことで学ぶことが沢山ある。自然と介護に興味を持つようになり、新聞の記事等目を留めるようになった。考えることと実態は違うと思うが学んでいきたい。
- 2/19 ひだまりサロンを予定している。是非花水木の皆さんにも参加してほしい。

◆ご家族より

- 花水木を利用するようになりメリットがある。記録だけの報告だけでなく口頭で答えてくれることでやり取りができる。仕事と介護を両立する為に家族のことをオープンにすることでこれまでやってこれた。在宅から外に出ることは最初は抵抗があったが今こうして利用することで良かったと思っている。
- 入居することで家族の気持ちが変わった。これまでではやらなければという思いがあり母のことをしてきたが入居したことで身体的な疲れではなく「気持ちの疲れ」が溜まっていたことがわかった。常に見えない不安はあったが今は安心してお願いしていることで負担が減ってきている。
- 入居する前はちょっとしたことでぶつかってしまい、いけないことだと思っても繰り返してしまっていた。入居したことでお互いが離れる時間ができ気遣いができるようになった。家では本当は出来る事を何かあったら…ということから取り上げてしまっていた。花水木では洗濯物をたたんだり、台所仕事をする姿を見て、出来る事を継続していることが有難い。
- 入居者の中では一番長い間お世話になっている。利用初期の頃は自宅と花水木を行き来しながら本人の安心できる場所で過ごしていた。年を重ねることで身体的・体力の低下があるが生活のサイクル(休む時間をいれて)を作り笑顔を見せてくれる。レクに参加する等安定している。

◆行政より (角田市介護保険係: 加藤氏)

- 在宅でのケアは課題。第6期事業計画では在宅介護中心にと政策を打ち出している。家族だけの介護は大変であるため、介護サービスを利用することで介護者側が負担にならないように。
- 平成27年度は小規模多機能型の整備。平成27年1/1(入居は2月スタート)に角田市に新しいグループホーム開設されるためグループホーム同士ということで仲良くして欲しい。
- 介護保険の計画。需要があるので料金の値上げがある。行政-地域包括支援センターがある。在宅のケアは問題解決に時間がかかる。地域=家族=連絡がとれる体制づくりに務めていきたい。

◆管理者より

- 花水木へ入居することでバックグラウンドは知ることができているが、その方の思いが実現できるよう努めていきたい。入居者と家族が幸せになっていただけるケアをしていきたい。

◆在宅介護を通じての話題

- 94歳になる祖母と同居しており認知症の診断を受けてから8年程になる。介護が必要になってからは自宅での環境が整っていないことへの戸惑いがあった。また家族が受け入れられないといった課題もあった。在宅は家事と介護の両立…大変なことだと感じている。介護サービスを利用することで生活のリズムが整い、そのリズムに沿って生活している。安定した毎日を過ごしている。祖母は全く話はしないが、安心しきっている母や私には身を任せているからこそジェスチャーのみの会話が成立しているのだと思う。サービスを利用することから表情に変化があった。花水木を利用していただいている皆様にもご家族にしか見せない表情、しぐさがあるということを受け止め、気づき、安定した毎日を過ごしていただけるよう様々な角度からアプローチしていきたいと考えている。

次回の運営推進会議の予定です。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時: 平成27年3月27日(金) 13:30~

グループホーム花水木へのお問い合わせ

認知症高齢者の方の入居介護、デイサービスを行っています。

入居申請やデイサービスの利用に関する相談や見学等お気軽にどうぞ。

※ ボランティアさんも大歓迎です。

《連絡先》 グループホーム花水木 角田市角田字中島上170-21 0224(61)2777

グループホーム 花水木 通信

(有) カナガミケアリンク No.127 平成 27 年 2 月 10 日発行

2月に入り益々寒さが厳しくなってきましたが、暦の上では春を迎えました。そのような中、先日今シーズン初の積雪もあり、「寒いと思ったら随分積もったこと～！今時期だから仕方ないねえ。」「おらいの故郷はもっと雪降るんだよ～。かまくら作ったり、スキーしたりな～」と、皆さん降りしきる雪を見て昔を思い出し、また庭の雪景色を楽しんでいました。

2月3日には花水木でも豆まきを行い邪気を祓って福を呼び込めるよう「鬼は～外！福は～内！」と賑やかな節分を過ごしました。1日1日日が長くなって来て春に近づいていることを感じ、暖かくなることが待ち遠しい毎日です。

依然としてインフルエンザ等感染症には気が抜けない状況です。花水木の玄関での手洗いうがい、消毒を徹底し外からも内からも気をつけ、健康管理にも十分気をつけております。



花水木にやって来た赤鬼と青鬼に「鬼は～外！福は～内！鬼の目ん玉ぶつつぶせ～」と皆さん落花生を投げる音がして活気がありました。豆まきの後は…恵方巻きを頂き「年の数だけ豆を食べろって言ったもんだけど、この年にもなると無理だや～」節分の日は大笑い。



Happy Birthday

1月生まれのNさん。
娘さん夫婦と妹さんもお祝いに
駆けつけ笑顔あふれたお誕生日
になりました。



娘さんと息をそろえてケーキ
のろうそくを吹き消すほほえ
ましい姿。



家族揃っての誕生日会。嬉しそう
な皆さんの表情★

はやきの杜にて...

尺八や三味線の音色やさんさ時雨、ゆりあげ太陽節、長持ち唄、えんころ節
...と、皆さん一緒に口ずさみ大満足のひととき。民謡愛好会の皆さんありが
とう。



芸能ボランティアグループ 「百笑長屋」公演

新丁区で行われた芸能ボランティアグループ「百笑長屋」お楽しみ会に
参加し、銭太鼓や腹話術、南京玉簾等の出し物に大喜び！



Aさん大笑い♪楽しかった思いを
「ありがと〜！」と何度も伝えて
いました。



皿回しに挑戦！！一生懸命回そうとしま
したがなかなか難しい〜、ちょっとは出
来ましたよ〜♪

角田神社巡りと 喫茶店にて...

1月。新しい年も迎え、代表の案内で青麻神社、天神社、お神明さん、八
幡神社、金比羅さん...と、角田の神社巡りをしました。帰りに中町の喫茶
店へ。「う〜懐かしいごだ〜」「向かいヒシダイだっちゃね〜」と懐かしい
思い出話に花が咲き、ちょっと若返り、リッチな気分！



日常ひとコマ♪



寒い日の午後、名誉院長先生がお手製の牛乳入り葛湯を皆さんに振舞って下さいました。ほんのり甘く優しい味で、心まで温まりました。

団子さしの様子。ミズキの木に三色の団子を飾りました。「うちでも昔やったんだよ～」



花水木セレクトメニューの日★
稲荷寿司、おにぎり、海苔巻きと胡麻和え、柚子和えのお浸しから好きなものを選んでの昼食は好評で皆さん満足でした♪



ビンいっぱい貯まったボタンの整理はやり始めると夢中でやめられない作業でした



ジャンボカルタ取り大会。狙いを定めてお手玉で取り、その後は、ことわざの意味を皆で考えるひととき。「なるほどね～」

運営推進会議のおやつは…
NさんとTさんの愛情たっぷり
お手製のチョコチップ蒸しパン
♪喜んでいただきました。



運営推進会議の様子。入居している皆さんも参加し、様々な思いを聞いた良い機会となりました。



ホットケーキ作りの様子。一人ひとり生地を流し、焦げないように上手にひっくり返し、自分達で作ったおやつに「やっぱり美味し～♪」

